

指導が行われます。  
 具体的には、理解の状況や習熟の程度、興味・関心などに応じて個別指導が行われたり、グループ別に学習したり、複数の教師で授業を行う『チームティーチング』が実施されるなど、個に応じた指導の充実が図られます。



ティーム・ティーチング（幌別小学校）

学ぶことの楽しさや成就感を味わうことができるようになります。

子どもたちが自分の興味・関心に応じて主体的に学習を進め、学ぶことの楽しさや成就感を味わうことができるようになります。

特に中学校における選択学習の幅が広がります。

・1年生は週あたり1単位時間程度。

・2年生は週あたり2単位時間程度。  
 ・3年生は週あたり最大5単位時間  
 選択教科では、生徒の特性などに応じて、課題学習、補充的な学習や発展的な学習を含めて一層多様な学習活動が行われます。



しんた21で行われた選択学習（幌別中学校）

**自ら学び自ら考える力の育成**

これからの学校教育は、量から質への転換が図られます

・多くの知識を教え込む教育から自ら学び、自ら考える教育へ転換されます。

・生涯を通じて、いつでも自由に学び続けるといふ生涯学習の考え方がさらに進められます。

体験的な学習や問題解決的な学習などが重視されます

これからの学校教育では、  
 ・知的好奇心や探究心をもって、自ら学ぶ意欲や主体的に学ぶ力  
 ・自らの力で論理的に考え判断する力  
 ・自分の考えや思いを的確に表現する力

・問題を発見し解決する力  
 ・この能力の育成が重視されます。

このような能力は実際に自分で調べたり、体験したりすることによって実感をつた理解を深めることにより、はぐくまれていきます。

このため、学校では、

- ・観察、実験、見学や調査
- ・スピーチ、討論
- ・自ら調べ、まとめ、発表する活動
- ・自然体験やボランティアなどの社会体験

などの活動や学習が重視され、積極的に授業に取り入れられていきます。



保育所での体験学習（鶯別中学校）

道徳教育が充実されます

・幼稚園、小学校低学年では、基本的な生活習慣や善悪の判断、社会生活上のルールなどの指導が徹底されます。

・ボランティア活動や自然体験活動などの体験活動を生かした学習が充実され、豊かな体験を通して道徳性の育成が図られます。



道徳『心のノート』【文部科学省より配布】

国際化へ対応した教育が充実されます

・中学校では、選択教科になつている外国語が必修になります。

・話したり聞いたりすることに重点が置かれ、実際の場面で使える外国語教育が行われます。

・小学校でも

『総合的な学習の時間』などで、英会話などが実施できるようになります。



英語指導助手による授業

情報教育が充実されます

・中学校の技術・家庭科でコンピュータの活用など情報に関する学